

マキタ運輸の取り組み

会社概要

会社名：株式会社マキタ運輸

設立：1981年7月

本社：宮崎県都城市高木町6226-5

代表者：代表取締役 牧田 信良

資本金：1,000万円

従業員：209名

車両：4・8t車 27台 / 10t車 43台

トラクタ 78台

トレーラー 158台

(8月末日時点)

事業内容：一般区域貨物運送事業

第二種貨物利用運送事業

倉庫業

グループ：株式会社マキタエクスプレス

共同運送株式会社

農業生産法人 有限会社太陽ファーム



各拠点の整備

宮崎・神奈川・大阪・福岡・鹿児島に物流拠点を整備
 ドライバーの宿泊休憩所を設置し、休息できる環境を確保

- 2017年1月 大阪営業所
- 2019年7月 宮崎営業所
- 2021年3月 東京営業所
- 2021年9月 都城物流センター
- 2022年10月 福岡営業所
- 2022年11月 都城D C (常温倉庫)
- 2023年12月 鹿児島営業所



■ 都城D C



■ 福岡営業所



■ 東京営業所

都城DC・東京・大阪・福岡・
 鹿児島営業所では個室のベッドで
 ゆっくり休息することができる



■ 都城物流
 センター



■ 常温倉庫



■ 鹿児島営業所

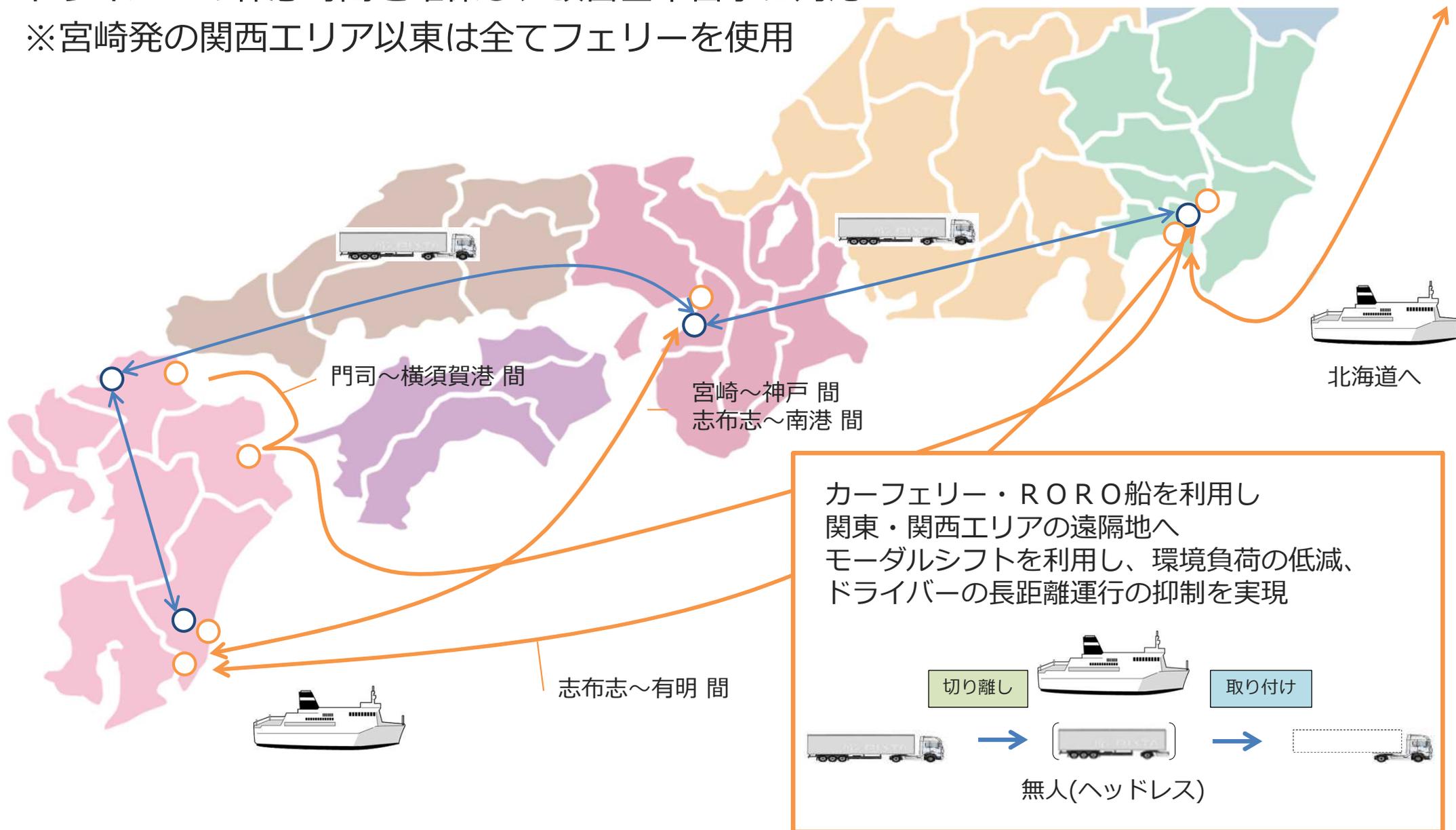


■ 大阪営業所

モーダルシフトの活用

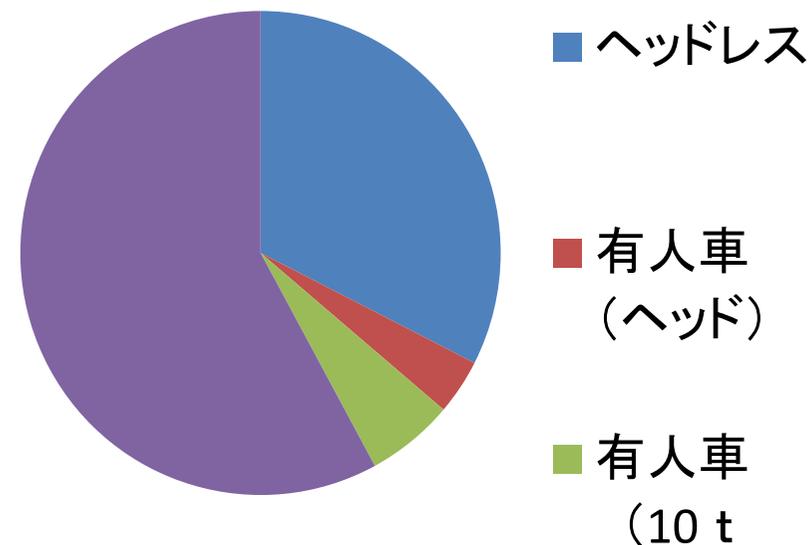
温度管理が必要となる商品を関東・関西エリアの消費地へモーダルシフトを積極的に利用
ドライバーの休息時間を確保し、改善基準告示に対応

※宮崎発の関西エリア以东は全てフェリーを使用



■ 本社発 運行経路比率

経路	台数	割合	重量(t)	運賃(千円)
ヘッドレス	6,907	32.5%	94,038	1,752,539
有人車(ヘッド)	794	3.7%	12,942	331,218
有人車(10t車)	1,254	5.9%	13,464	359,657
陸送	12,320	57.9%	95,911	820,157
全体	21,275	-	216,355	3,263,572



!! なぜ、全ての運行をヘッドレス(無人)で実施していないのか

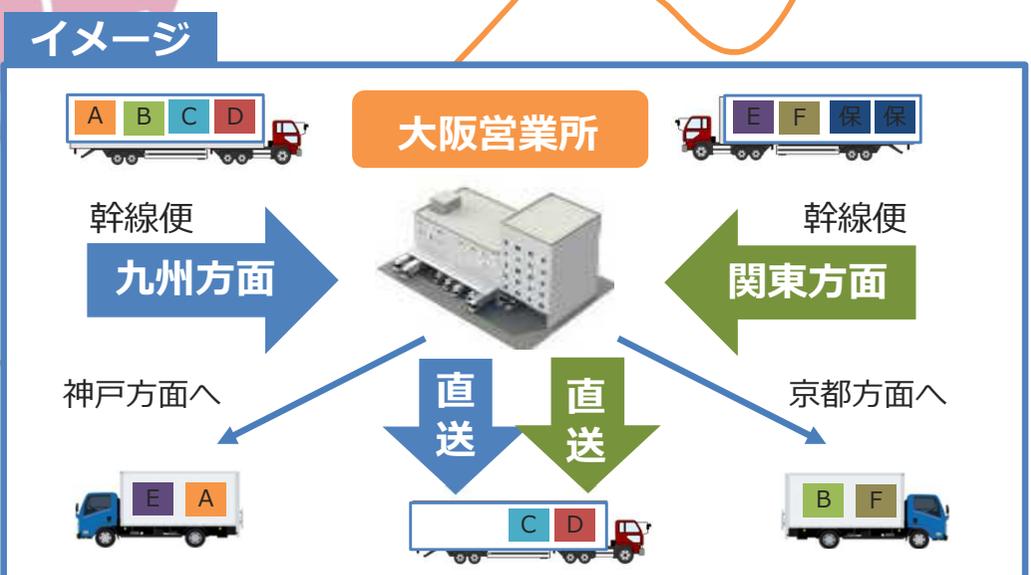
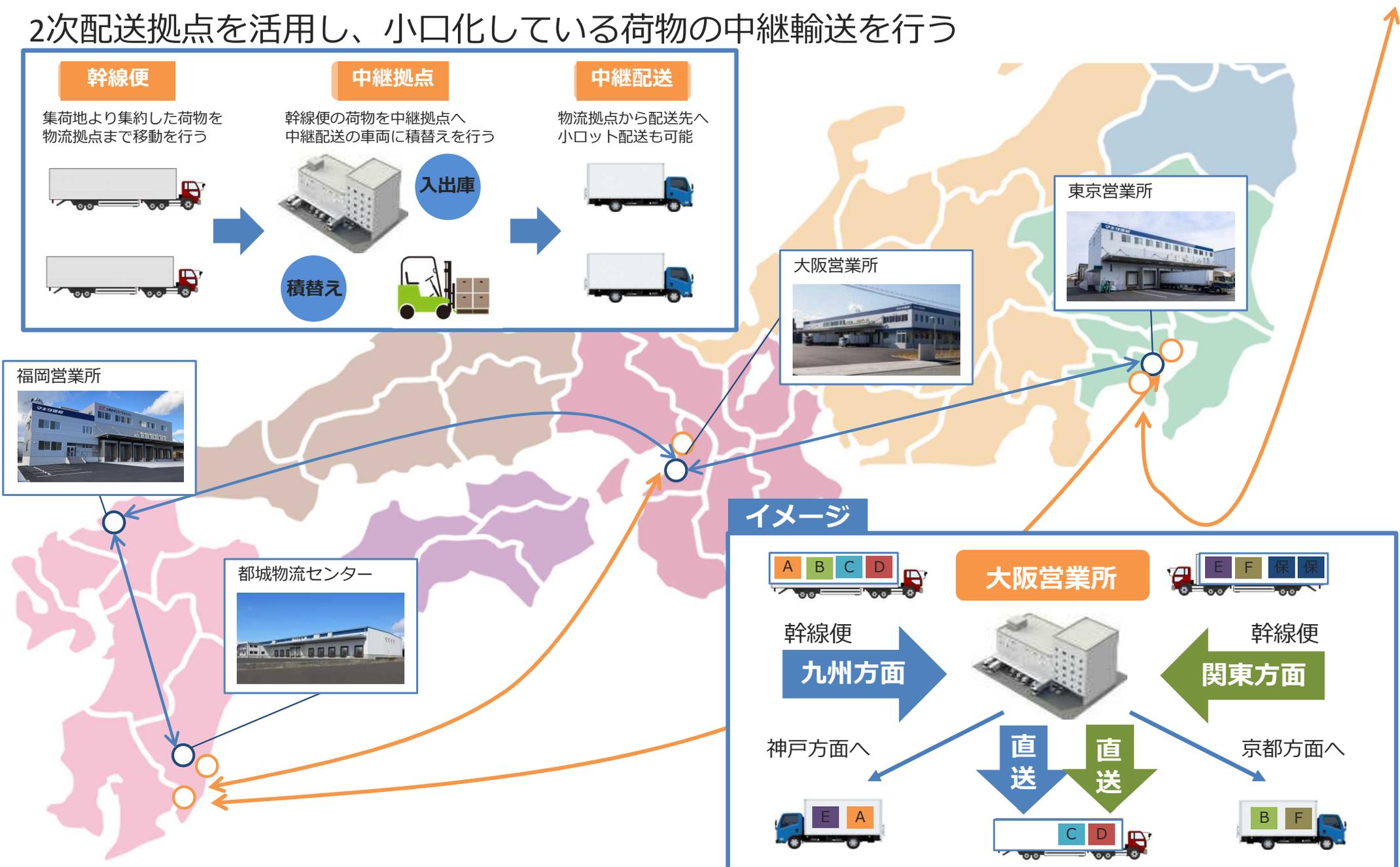
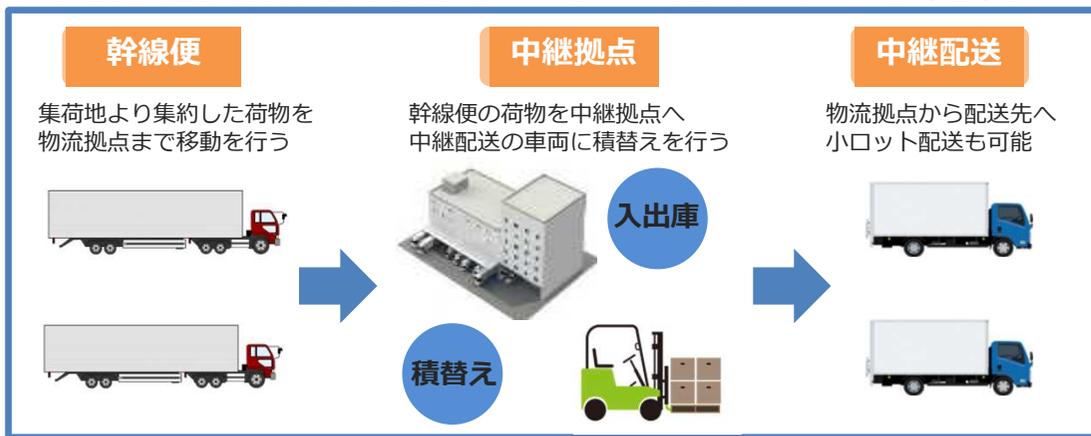
南九州発の荷物は生鮮食品(農畜産物・乳製品)など、賞味期限が短く輸送で欠車出来ない商品が多い
 ドッグ入りや台風等による欠航に備えて陸送体制を構築している

■ 陸送体制の運行内容



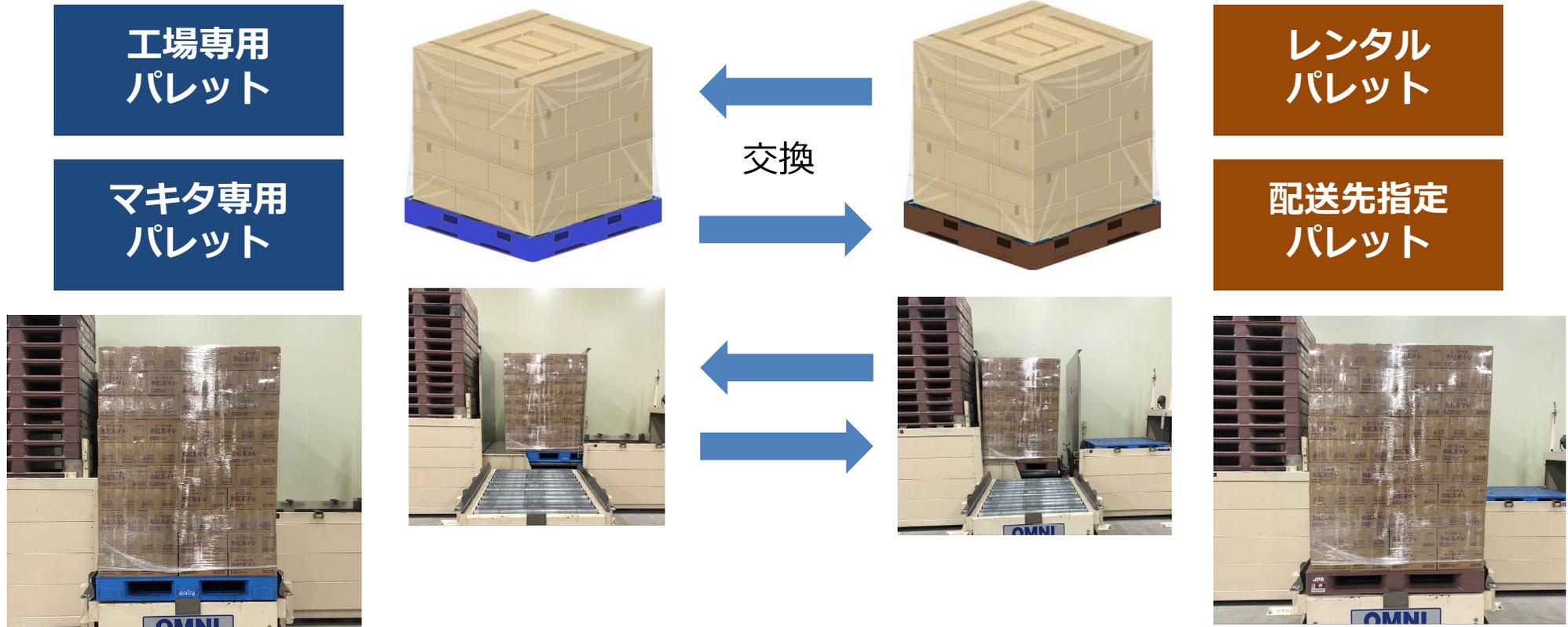
2次配送拠点の活用と整備

当社の運行は混載便が大半を占め、貸切便がほぼ無い
2次配送拠点を活用し、小口化している荷物の中継輸送を行う



生産性向上に向けた取り組み - パレット交換機 -

各拠点のパレット交換機を使用し、工場専用パレット・マキタ専用パレットからレンタルパレットや配送先指定パレットに交換



荷役作業時間の比較
(22P/L・トレーラー1台)

- 手積みの場合
積替え (1P/Lあたり) 約450秒
延べ作業時間 約2時間45分
- パレット交換機
交換能力 (1P/Lあたり) 約90秒
延べ作業時間 約32分

積替作業時間
80%削減!

生産性向上に向けた取り組み - 10tからトレーラー化 -

運輸業界を取り巻く環境は人員の減少・高齢化傾向にある

二段枠を使用し10t車からトレーラー車へ変更することで幹線輸送の生産性向上を実現

10t車の概要

内寸：縦 930cm／横 235cm／高さ 210cm
最大積載重量 12,000kg

トレーラー車の概要

内寸：縦 1,257.5cm／横 235cm／高さ 227cm
最大積載重量 26,500kg

輸送事例

関西便 2台／中京便 1台／関東便 1台 1日あたり... **約86 t 出荷**

【従来の10t車の場合】

集荷



8人/日

幹線



8人/日

現地まで



8人/日

【マキタ運輸の場合】

集荷



4人/日

幹線



ヘッドレス輸送
(無人航走)

0人/日

現地まで



4人/日

10 t 車の場合

24人/日が必要

トレーラー車の場合

8人/日が必要

POINT

1日あたりの必要人員が**66.7%削減**、1人あたりの**生産性が向上**

二段枠を使用することで1パレット分の面積で2パレット分の積載が可能となる



積載事例

ブローラーのアイテムごとに積載を行う

車両削減率
約50%



○1PLあたり
10本回しの5段積み
(12kg/箱×10×5=600kg)

○1車あたり 36PL積み込む
(12kg/箱×10×5
×36PL=21,600kg)

実施結果

高積みによる潰れやドリップ漏れなどが**減少**

商品の品質を落とさず、

効率的な輸送が可能となった

ご清聴ありがとうございました